

001031  
001032  
001033

全般概要		所 属	
轉入 十九年以降		第一方面軍第三軍	
轉出 十九年以降		第七九師團	
編制人員 300		部隊名	
別 隊		第七九師團衛生隊	
隊長名 (内は先代を示す)		通稱號	
開人 戰時		奏二一一六八	
駐屯地 平時		郵便所名	
南羅 南 羅 門 圖		滿洲殘留	
戰鬥箇の狀況及損耗			
終戦後の人員變動			
作業大隊より 入「ソ」迄の變動			
隊別 計			
入「ソ」人員			
滿洲殘留			

部隊名 第七九師團衛生隊

通稱號 奏二一一六八

郵便所名

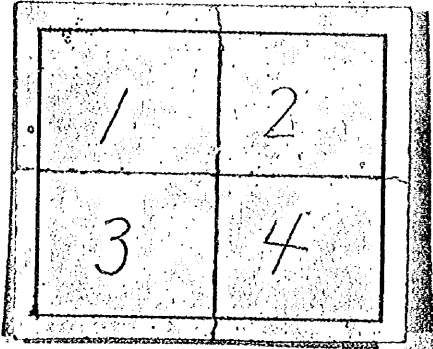
		別 隊		隊 長 名 (内は先代を指示)		開 人 時 員		駐 屯 地 平 時 戰 時		南 羅 們 圖		戰 斗 間 の 状 況 及 損 耗		終 戦 後 の 人 員 變 動		作 業 大 隊 以 外 入 ソ 迄 の 變 動		入 ソ 入 員 隊 別 計		滿 洲 殘 留		收 容 所 名		收 容 所 長 所 人 死 亡		滿 洲 領 土 以 外 領 土		歸 還 人 員 計		狀 況 不 明 者 數	



前編

後編

# 分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

		全般概要		属所	
		轉入 十九年以降		第一方面軍第三軍 第七九師團	
		轉出 十九年以降		部隊名	
350		員数編		第七九師團第四野戰病院	
		別除		通稱號	
		隊長名 (内は先代を不す)			
		戦開人 時員			
		駐屯地 平時			
		戦時			
		南 羅 們 圖			
		戰鬥間の状況及損耗			
		終戦後の人員變動			
		作業大隊より 入「ソ」迄の變動		郵便所名	
		除別計		入「ソ」人員	
		滿洲殘留			
		收			
		所			

第七九師團第四野戰病院

通稱號

郵便所名

		別除	隊長名 (内は先代を示す)
		開人	戦時
		駐屯地	平時
			戦時
		南羅門園	
		戦闘間の状況及損耗	
		終戦後の人員變動	
		作業大隊より 入「ソ」迄の變動	
		入「ソ」人員	隊別計
		滿洲殘留	
		收容所名	收容所
		員所入	死亡
		滿洲より	歸還人員
		領計	者數
		狀況不明	

350

照

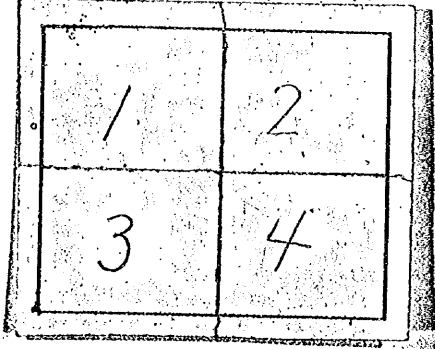
記



南 洋

印 度

# 分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

0590  
0591

第一方面軍第三軍 第七九師團 部隊名 第七九師團病馬廠 通稱號 奏二二一一六五 郵便所名

全般概要	二〇、二、六編成 八、六、経路より團們に移 船木少尉以下一各北總省 支廠を解散隊斗に参加損害 なし	轉入 十九年以降	轉出 十九年以降	人員編制	52	別除	隊長 大尉 矢澤 保 大佐(宮尾登四郎)	關入 戦時 人員	34	駐屯地	南羅 門園 南羅 坪蒼北	戰鬥間の狀況及損耗	二〇、八、一六、團們附近で隊斗 八、二一、矢澤大尉以下一〇〇〇名自決 (南羅にて手榴弾を以つて自動列車上にて 自決す)	終戦後の人員變動	將校、兵と區分される	作業大隊より 入「ソ」迄の變動	入「ソ」人員 隊別計	滿洲殘留
八、一六、晚間附近に敵 侵入戦斗 主力は玉碎、殘員南羅へ 移	八、一八、團們にて武裝解 散	二〇、三、一〇 二〇、三、一三 山砲二五、一 二〇、四、一五 獨守三大隊 騎兵二四聯隊 騎兵一九三 七九師制毒隊 獨山砲一聯隊 野砲二五二 騎兵二聯隊 歩兵四聯隊 歩二四〇聯隊 機銃隊 山砲二七 山砲二二 歩兵六九 騎重三六 兵站自動車 輕重二	二〇、五、一 歩二八九一								支廠長以下一〇名にて解散 八、一七、團們にて武裝解散		一〇、二、二、將校のみ第三 大隊にて(坂大佐 品部)					
一〇、一〇、列車にて「ロ ムンモリス」第四分所へ 收容さる 主力の分所は不明	二二、三、約三〇名第二分 所へ																	

名 第七九師團病馬廠

通稱號 奏二二一六五

郵便所名

別	隊長名 (内は先代を不示す)	本廠	支廠	廠
隊員	34	10		
駐屯地	南羅門	南羅門	北蒼坪	
戰鬥間の狀況及損耗	二〇、八、一六、圖附近で戰鬥 八、二一、矢澤大尉以下一〇〇〇名自決 (南門にて手榴弾を以つて自動貨車上下に自決す)	支隊長以下一〇名にて閉殺 八、一七、圖附近にて武装解除		
終戦後の人員變動		將校、兵と區分される		
作業大隊より入「ソ」迄の變動		一〇、二一、將校のみ第三大隊にて(支隊長 品部)		
入「ソ」人員				
隊別計				
滿洲殘留				
收容所				
收容所名				
所入				
死亡				
滿洲より領				
計				
者數				
狀況不明				

二〇、二、六編成  
 八、六、経南より國門の移  
 船木少尉以下一名北郷省  
 支隊を解散戦斗に参加せず  
 なし  
 八、一六、晩國門附近に敵  
 侵入察知  
 主力は玉碎、殘兵南國門  
 八、一八、國門にて武装解  
 散  
 八、一六日一七日敵長以下  
 五名自決す  
 八、二一、問島に移動  
 作業第三大隊編成  
 九、二七、クランクキ經由  
 一〇、一〇、列車にて「モ  
 ムンモリス」第四分所へ  
 收容せらる  
 主力の分所は不明  
 二、二、三、約三〇名第二分  
 所へ

二〇、三、一〇  
 騎一九一三  
 山砲二五  
 二〇、四、一五  
 騎守三大隊  
 騎兵二四聯隊  
 騎兵一九  
 七九師團砲隊  
 野山砲一聯隊  
 野砲二五  
 騎兵二聯隊  
 歩兵四聯隊  
 歩二四〇聯隊  
 歩四聯隊  
 騎兵二七  
 山砲二  
 歩兵六九  
 騎兵三六  
 兵站自動車  
 騎兵二

二〇、五、一  
 歩二八九

本	支	廠
隊長 大尉 矢澤 景 大佐(官廳等四郎)	10	
南 羅	南 羅	
備 邊	坪 蒼 北	
二〇、八、一六、國門附近に駐平 八、二一、大隊長以下一〇〇〇名官舎 (南國門)に手廻りて退却し、坪蒼北にて 自決す	支隊長以下一〇名にて開設 八、一七、國門にて武装解散	

將校、兵と區分せらる

一〇、二、一、將校のみ第三  
大隊にて(大佐 品部)

本 廠	支 廠	
隊 大尉 矢澤 保 大佐(官) 西郷		
34	10	
南 羅	南 羅	
南 羅	坪 北	
二〇、八、一六、國領近 八、二一、矢澤大尉以下一〇〇〇名 (官) 西郷以下手廻り及び一〇〇〇名 (官) 西郷	支廠以下一〇名 八、一七、國領近 八、一七、國領近	
落校、兵と区分される		
一〇、二一、落校のみ第三 大隊にて(長大佐 品部)		